

## 平成29年度保護林モニタリング調査結果の公表案

## 恐山山地森林生態系保護地域

管轄森林管理局・署	東北森林管理局下北森林管理署
所在地	青森県むつ市
面積	5,537.66 ha
設定年	平成7年3月(平成19年3月拡大)
保護林の概要 (設定目的)	宇曾利山湖を取り巻く恐山山地は、ヒバの優占が著しい森林や標高が高くなるにつれてブナ純林に移行するという典型的な林相を呈している。本地域の森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護等を目的として設定。平成19年3月26日に大尽山ヒバ植物群落保護林、宇曾利山湖ヤチダモ植物群落保護林を編入。



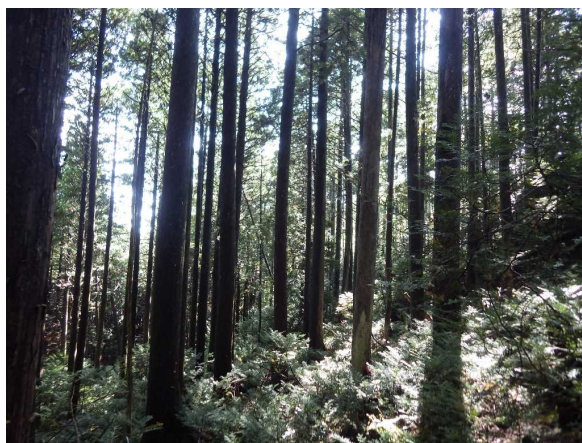
## モニタリング調査の概要

実施年度	平成29年度
調査項目	樹木・林床植生の生育状況調査、動物調査、鳥類調査
調査手法	森林詳細調査として、ヒバ、ブナの生育地において調査プロットを設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。森林生態系多様性基礎調査の結果も活用。動物・鳥類調査は自動撮影カメラ調査、ルートセンサー調査を実施し動物相・鳥類相を把握。
結果概要	過年度調査結果と比較して、林相や種組成に大きな変化は見られず、ヒバ群落及びブナ群落が主体となって構成されており、現状が維持されていた。

モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

# 佐藤ヶ平ヒバ遺伝資源希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	東北森林管理局下北森林管理署
所在地	青森県むつ市
面積	13.67 ha
設定年	昭和63年(平成21年3月拡大)
保護林の概要 (設定目的)	大畑市街地から佐藤ヶ平に延びる佐藤ヶ平林道沿いに帯状に広がるヒバ(ヒノキアスナロ)の天然生林。 ヒバ(ヒノキアスナロ)の保存のために設定。



## モニタリング調査の概要

実施年度	平成29年度
調査項目	樹木・林床植生の生育状況調査
調査手法	森林詳細調査として、ヒバ(ヒノキアスナロ)の生育地において調査プロットを設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。
結果概要	過年度調査結果と比較して、林相や種組成に大きな変化は見られず、ヒバ(ヒノキアスナロ)群落が主体となって構成されており、現状が維持されていた。一部、立木にてんぐ巣病が確認されたが、発生状況は部分的であった。

モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

# 二股山ケヤキ遺伝資源希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	東北森林管理局下北森林管理署
所在地	青森県下北郡
面積	29.04 ha
設定年	昭和63年(平成21年3月拡大)
保護林の概要 (設定目的)	ケヤキ天然林分布の北限にあたり、生育分布と地理的制限要因から現状を維持し、ケヤキの遺伝資源について恒久的な保存を図るために設定。



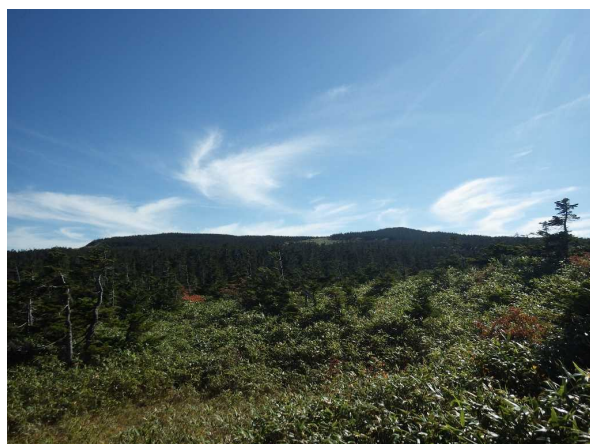
## モニタリング調査の概要

実施年度	平成29年度
調査項目	樹木・林床植生の生育状況調査
調査手法	森林詳細調査として、ケヤキの生育地において調査プロットを設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。
結果概要	過年度調査結果と比較して、林相や種組成に大きな変化は見られず、ミズナラ、ケヤキ、シナノキ等の落葉広葉樹が主体となって構成されており、現状が維持されていた。

モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

# 八幡平生物群集保護林

管轄森林管理局・署	東北森林管理局岩手北部森林管理署
所在地	岩手県八幡平市
面積	6,366.43ha(馬淵川上流森林計画区)
設定年	平成11年3月(秋田県側 平成18年3月設定)
保護林の概要 (設定目的)	山地帯から亜高山帯の典型的な垂直分布を示している八幡平周辺の植物群落を一体のものとして保存するとともに、奥羽山脈縦断自然樹林帯の核として森林生態系の効果的な保全に資するために設定。



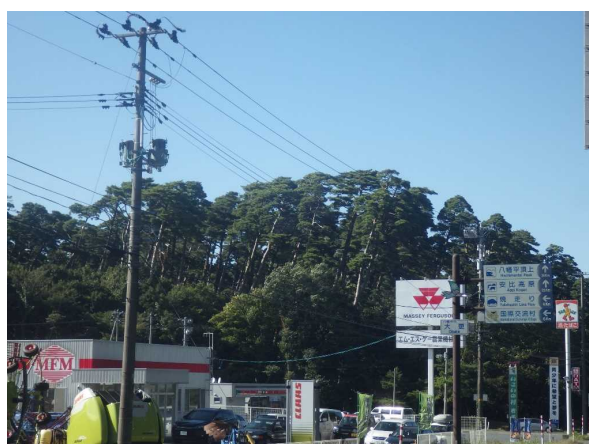
## モニタリング調査の概要

実施年度	平成29年度
調査項目	樹木・林床植生の生育状況調査
調査手法	森林詳細調査として、オオシラビソ群落、ブナ群落において調査プロットを設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。
結果概要	過年度調査結果と比較して、林相や種組成に大きな変化は見られず、オオシラビソ群落、ブナ群落が主体となって構成されており、現状が維持されていた。

モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

# 松森山御堂松希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	東北森林管理局下北森林管理署
所在地	岩手県八幡平市
面積	7.32 ha
設定年	昭和4年(昭和52年6月14日変更)
保護林の概要 (設定目的)	天然アカマツを主体とし林内の中下層にイタヤカエデ等の広葉樹が混生する丘陵林。南部アカマツの系統をくみ幹が通直、完満で筋が少なく、かつ小さく枝下高が高いという特色を持っており「御堂マツ」と呼ばれる。御堂松の代表的な林分の保存と自然推移の観察のために設定。



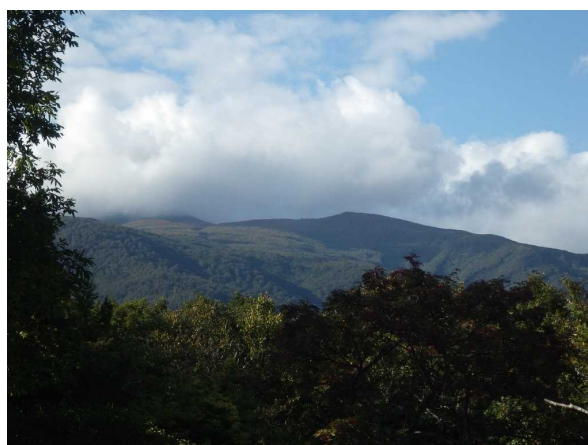
## モニタリング調査の概要

実施年度	平成29年度
調査項目	樹木・林床植生の生育状況調査
調査手法	森林詳細調査として、アカマツの生育地において調査プロットを設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。
結果概要	過年度調査結果と比較して、林相や種組成に大きな変化は見られず、アカマツ群落が主体となって構成されており、現状が維持されていた。マツクイ虫対策として樹幹注入が実施されており、引き続き病虫害について注視していく。

モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

# 栗駒山・朽ヶ森山周辺森林生態系保護地域

管轄森林管理局・署	東北森林管理局 宮城北部森林管理署
所在地	宮城県栗原市
面積	3,142.08 ha(宮城北部森林計画区)
設定年	平成6年3月(平成28年拡大)
保護林の概要 (設定目的)	ブナ-チシマザサ群落と山頂付近のミヤマナラ、ハイマツ等の低木群落等の冷温帯性落葉広葉樹林の原生的な天然林が比較的多く存在し、本地域の森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護等を目的として設定。平成28年度に栗原千年クロベ植物群落保護林を保全利用地区に編入。



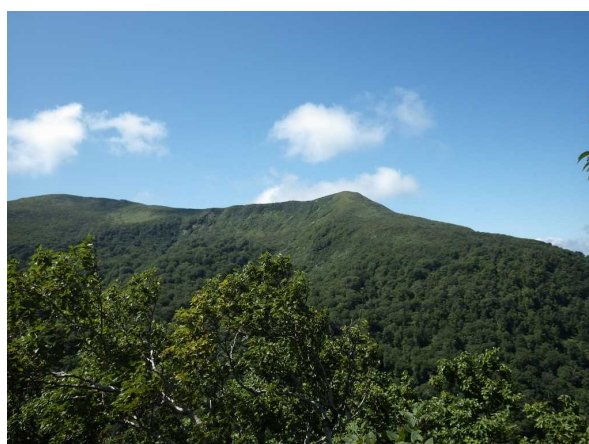
## モニタリング調査の概要

実施年度	平成29年度
調査項目	樹木・林床植生の生育状況調査、動物調査、鳥類調査
調査手法	森林詳細調査として、ブナ-チシマザサ群落、低木群落において調査プロットを設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。森林生態系多様性基礎調査の結果も活用。動物・鳥類調査は自動撮影カメラ調査、ルートセンサス調査を実施し動物相・鳥類相を把握。
結果概要	過年度調査結果と比較して、林相や種組成に大きな変化は見られず、ブナ-チシマザサ群落、低木群落が主体となって構成されており、現状が維持されていた。

モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

## 船形山(御所山)生物群集保護林

管轄森林管理局・署	東北森林管理局 宮城北部森林管理署
所在地	宮城県加美郡
面積	3,042.86ha(宮城北部森林計画区)
設定年	平成11年3月(平成26年拡大)
保護林の概要 (設定目的)	船形山周辺は、亜高山帯にミヤマナラ-チシマザサ群落、山地帯にブナ-チシマザサ群落を主体とした多様な植物群落が存在し、これらの植物群落を一体のものとして保存するために設定。



### モニタリング調査の概要

実施年度	平成29年度
調査項目	樹木・林床植生の生育状況調査
調査手法	森林詳細調査として、ブナ-チシマザサ群落において調査プロットを設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。
結果概要	過年度調査結果と比較して、林相や種組成に大きな変化は見られず、ブナ-チシマザサ群落が主体となって構成されており、現状が維持されていた。

モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

## 牧の崎スギ遺伝資源希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	東北森林管理局 宮城北部森林管理署
所在地	宮城県石巻市
面積	9.69 ha
設定年	昭和63年
保護林の概要 (設定目的)	牡鹿半島西側の牧の崎海岸沿いに成立したスギの大木を主体とした天然生林。 スギの遺伝資源の保存を図るために設定。



### モニタリング調査の概要

実施年度	平成29年度
調査項目	樹木・林床植生の生育状況調査
調査手法	森林詳細調査として、スギの生育地において調査プロットを設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。
結果概要	過年度調査結果と比較して、林相や種組成に大きな変化は見られず、スギが主体となって構成されており、現状が維持されていた。ニホンジカの生息密度が高く、その影響について引き続き注視していく。

モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。



## 駒ヶ峰モミ遺伝資源希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	東北森林管理局 宮城北部森林管理署
所在地	宮城県石巻市
面積	8.19 ha
設定年	昭和63年
保護林の概要 (設定目的)	牡鹿半島駒ヶ峰(標高323.5m)の西斜面に成立した常緑針葉樹のモミが優占する林分。 モミの遺伝資源の保存を図るために設定。



### モニタリング調査の概要

実施年度	平成29年度
調査項目	樹木・林床植生の生育状況調査
調査手法	森林詳細調査として、モミの生育地において調査プロットを設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。
結果概要	過年度調査結果と比較して、林相や種組成に大きな変化は見られず、モミが主体となって構成されており、現状が維持されていた。ニホンジカの生息密度が高く、その影響について引き続き注視していく。

モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

## 鱒淵観音堂カヤ遺伝資源希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	東北森林管理局 宮城北部森林管理署
所在地	宮城県登米市
面積	9.99 ha
設定年	昭和63年
保護林の概要 (設定目的)	宮城県の北東部に位置する丘陵地に残された自然度の高い天然生林で、カヤやスギ、モミといった常緑針葉樹やケヤキ、イヌブナが混生している林分。 カヤ、クリ、コナラ、ケヤキの遺伝資源の保存を図るために設定。



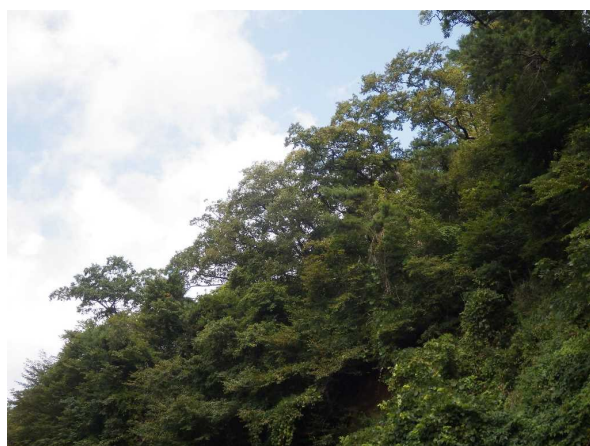
### モニタリング調査の概要

実施年度	平成29年度
調査項目	樹木・林床植生の生育状況調査
調査手法	森林詳細調査として、カヤ、クリ、コナラ、ケヤキの生育地において調査プロットを設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。
結果概要	過年度調査結果と比較して、林相や種組成に大きな変化は見られず、カヤ、モミ等の常緑針葉樹とケヤキ、イヌブナ等の落葉広葉樹が混生して構成されており、現状が維持されていた。

モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

# 大峰山クヌギ遺伝資源希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	東北森林管理局 宮城北部森林管理署
所在地	宮城県登米市
面積	9.08 ha
設定年	昭和63年
保護林の概要 (設定目的)	宮城県の北東部に位置し、北上山地西側に見られる落葉広葉樹林でクヌギのほかコナラやカスミザクラなどが優占している林分。 クヌギの遺伝資源の保存を図るために設定。



## モニタリング調査の概要

実施年度	平成29年度
調査項目	樹木・林床植生の生育状況調査
調査手法	森林詳細調査として、クヌギの生育地において調査プロットを設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。
結果概要	過年度調査結果と比較して、林相や種組成に大きな変化は見られず、コナラ、クヌギ、クリ等の落葉広葉樹が主体となって構成されており、現状が維持されていた。クヌギの実生や稚樹、低木が確認されず、引き続き更新状況について注視していく。

モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

## 鎌内ブナ遺伝資源希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	東北森林管理局 宮城北部森林管理署
所在地	宮城県大崎市
面積	19.46 ha
設定年	昭和63年
保護林の概要 (設定目的)	栗駒山山麓の南麓に残存する典型的な日本海型のブナ林。ブナの遺伝資源の保存を図るために設定。



### モニタリング調査の概要

実施年度	平成29年度
調査項目	樹木・林床植生の生育状況調査
調査手法	森林詳細調査として、ブナの生育地において調査プロットを設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。
結果概要	過年度調査結果と比較して、林相や種組成に大きな変化は見られず、ブナ群落が主体となって構成されており、現状が維持されていた。

モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

# 小黒崎アカシデ遺伝資源希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	東北森林管理局 宮城北部森林管理署
所在地	宮城県大崎市
面積	10.81 ha
設定年	昭和63年
保護林の概要 (設定目的)	宮城県大崎市の小黒ヶ崎山(標高244.6m)の西向きの急傾斜に成立したアカシデの優占群落。 アカシデの遺伝資源の保存を図るために設定。



## モニタリング調査の概要

実施年度	平成29年度
調査項目	樹木・林床植生の生育状況調査
調査手法	森林詳細調査として、アカシデの生育地において調査プロットを設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。
結果概要	過年度調査結果と比較して、林相や種組成に大きな変化は見られず、アカシデ群落が主体となって構成されており、現状が維持されていた。

モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

# 漆沢岳外山オニグルミ遺伝資源希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	東北森林管理局 宮城北部森林管理署
所在地	宮城県加美郡
面積	5.40 ha
設定年	昭和63年
保護林の概要 (設定目的)	山形県との県境近くの外川沿いに成立した、樹高20mに達するオニグルミが優占する林分。 オニグルミの遺伝資源の保存を図るために設定。



## モニタリング調査の概要

実施年度	平成29年度
調査項目	樹木・林床植生の生育状況調査
調査手法	森林詳細調査として、オニグルミの生育地において調査プロットを設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。
結果概要	過年度調査結果と比較して、林相や種組成に大きな変化は見られず、ブナ、シナノキ、オニグルミ、サワグルミが主体となって構成されており、現状が維持されていた。オニグルミの実生や稚樹、低木が確認されず、引き続き更新状況について注視していく。

モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

## 自生山スギ希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	東北森林管理局 宮城北部森林管理署
所在地	宮城県大崎市
面積	130.75 ha
設定年	大正13年3月31日(平成16年3月31日変更)
保護林の概要 (設定目的)	ブナを中心とした天然林にスギ、ネズコ、キタゴヨウの針葉樹が点在し、宮城県内唯一の天然スギ林で学術的にも貴重な保護林。原則として人手を加えず自然の推移に委ね、学術研究等に寄与する目的で設定。



### モニタリング調査の概要

実施年度	平成29年度
調査項目	樹木・林床植生の生育状況調査
調査手法	森林詳細調査として、スギの生育地において調査プロットを設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。
結果概要	過年度調査結果と比較して、林相や種組成に大きな変化は見られず、スギ、クロベ等の常緑針葉樹とブナ、ミズナラ、サワグルミ等の落葉広葉樹が混生して構成されており、現状が維持されていた。

モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

## 魚取沼鉄魚希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	東北森林管理局 宮城北部森林管理署
所在地	宮城県加美郡
面積	84.16 ha
設定年	平成5年
保護林の概要 (設定目的)	国指定天然記念物鉄魚の生息する魚取沼の周囲に設置された保護林で、日本海型ブナ林をはじめ、水辺には湿地林が成立している。 鉄魚及び生息地周辺の環境の保存を目的に設定。



### モニタリング調査の概要

実施年度	平成29年度
調査項目	樹木・林床植生の生育状況調査
調査手法	森林詳細調査として、魚取沼周辺において調査プロットを設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。
結果概要	過年度調査結果と比較して、林相や種組成に大きな変化は見られず、ブナ-チシマザサ群落が主体となって構成されており、魚取沼鉄魚の生息地を保護するための森林が維持されていた。

モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。